



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 栄区若竹町PJ	階数	地上3F
建設地	横浜市栄区若竹町153-1、153-2、153-3、156-6、156-7	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用、法22条区域	平均居住人員	67人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2021年4月14日
敷地面積	2,024 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 横浜支社 流通一級建築士事務所 大塚 啓介
建築面積	816 m ²	確認日	2021年4月14日
延床面積	2,087 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社 横浜支社 流通一級建築士事務所 大塚 啓介

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 184 (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 46 (kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 138 (kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 138 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

音環境	3.2
温熱環境	2.2
光・視環境	3.6
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	3.0
耐用性・信頼性	3.1
対応性・更新性	2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

生物環境	2.0
まちなみ・景観	2.0
地域性・アメニティ	2.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	2.7
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	3.1
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化への配慮	3.4
地域環境への配慮	2.9
周辺環境への配慮	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	広々とした居住空間と外構緑化指数20%以上の緑豊かな設計	その他 特になし
Q1 室内環境	1.25%以上の屋光率を確保、居室には庇・カーテンを採用するなど、環境に配慮	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化指数20%以上、自生種を選定した緑地づくりなどで環境に配慮
LR1 エネルギー	BPI _m =0.76、BEI _m =0.86	LR3 敷地外環境 光害チェックリストの過半数を満たし、広告物照明はなし
Q2 サービス性能	個室10㎡以上、天井高2.3m以上広々とした居住空間 耐用年数の長い外壁建材や配管材を使用するなどし、環境に配慮	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材が容易に分別可能(LGS+GR)を採用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



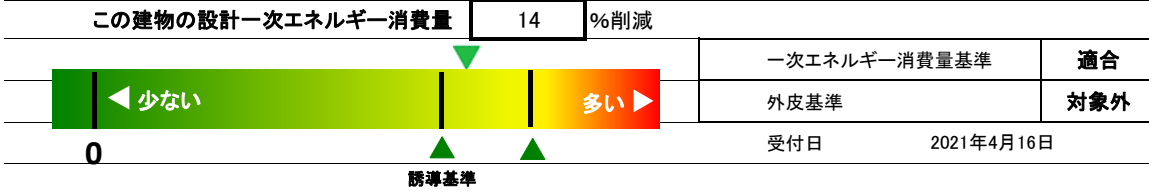
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称) 栄区若竹町PJ

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPIm=0.76

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩昼光率1.25%以上

⑪内装はほぼ全面的に☆☆☆☆を使用している

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯外壁:透湿性弾性吹付タイル 耐用年数35年

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7
(仮称) 栄区若竹町PJ

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	重点項目 <非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質							2.7
Q1 室内環境							3.1
1 音環境			3.3	0.15	3.2	1.00	3.2
1.1 騒音			3.0	0.40	3.0	0.40	-
1.2 遮音			3.8	0.40	3.6	0.40	-
1 開口部遮音性能			5.0	0.40	5.0	0.30	-
2 界壁遮音性能			3.0	0.60	3.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音			3.0	0.20	3.0	0.20	-
2 温熱環境			2.3	0.35	2.1	1.00	2.2
2.1 室温制御			2.5	0.50	2.1	0.50	-
1 室温		快適・働きやすさ	3.0	0.38	3.0	0.57	-
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	1.0	0.25	1.0	0.43	-
3 ソーン別制御性		快適・働きやすさ	3.0	0.38	-	-	-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	1.0	0.20	1.0	0.20	-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	3.0	0.30	3.0	0.30	-
3 光・視環境			3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
3.1 昼光利用			4.2	0.30	4.2	0.30	-
1 昼光率		快適・働きやすさ	5.0	0.60	5.0	0.60	-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	3.0	0.40	3.0	0.40	-
3.2 グレア対策			4.0	0.30	4.0	0.30	-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	4.0	1.00	4.0	1.00	-
3.3 照度		快適・働きやすさ	3.0	0.15	3.0	0.15	-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	3.0	0.25	3.0	0.25	-
4 空気環境			3.9	0.25	3.8	1.00	3.8
4.1 発生源対策			4.0	0.50	4.0	0.63	-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	4.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2 換気			3.0	0.30	3.6	0.38	-
1 換気量		快適・働きやすさ	3.0	0.50	3.0	0.33	-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	-	-	5.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.3 運用管理			5.0	0.20	-	-	-
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	5.0	1.00	-	-	-
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	2.9
1 機能性			2.4	0.40	3.8	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	5.0	0.60	-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	-	-	5.0	1.00	-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	2.0	0.40	-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	-	-	3.0	0.50	-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	-	-	-	-	-
3 内装計画		快適・働きやすさ	1.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	4.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	2.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性			3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震			3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性		防災	3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制振性能		防災	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数			3.9	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数		防災	3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	5.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	4.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	5.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性			2.6	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備		防災	3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備		防災	2.0	0.20	-	-	-
3 電気設備		防災	3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法		防災	3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備		防災	2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			2.7	0.30	2.3	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり			2.0	0.30	1.6	0.50	-
1 階高のゆとり			2.0	0.60	2.0	0.60	-
2 空間の形状・自由さ			2.0	0.40	1.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2017年版v.1.7
(仮称) 栄区若竹町PJ

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		2.7	0.50	-	-	2.7
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮				3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-
2 振動				-	-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目				-	-	-	-	-
<事務用途>				-	-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-
<住宅用途>				-	-	-	-	-
健康と安心				-	-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		-	-	-	-	-